

各部会（第6回）における主な意見

部会（第6回）の議題：パブリック・コメントの意見について

○計画全体に関して

【第1部会】

- ・スクラップするものが示されていないという意見があるが、不要なものや時代に合わないものへの対応については、「選択と集中」など他の表現で示されている。
- ・さいたま市の特徴がないという意見があるが、審議会ですいぶんと議論してきたつもりである。
- ・トップダウン型で強く市長の意向を打ち出している計画が多い中、さいたま市の基本計画は非常に民主的で、これだけ市民の意見を聞きながら、市民と一緒に作り上げてきた計画は珍しく、これがさいたま市の特徴だと感じている。市長のカラーが色濃くないため、市民には特徴がうすいと映っているような気がする。
- ・自転車の活用や太陽光発電などさいたま市が先進的に取り組んでいることをキーワードとして盛り込んでどうか。
- ・多様で元気な市民と協働・協創を目指している先鋭的な地域であることをこの地域の総合的な特色として示すために、そのような環境の中で作られてきた計画であることを盛り込むと良いのではないか。
- ・市民の力を活用するという点が弱いように感じる。市民に任せることだけではなく、協力・連携して、市民と一緒に進めるということをもっと言及してはどうか。
- ・市民は身近なことに関心があって、産業・経済の分野への意見は少ないと感じた。
- ・市内には農家や都市住民など多様な人がいるので、旧4市がまとまって、1つの理念を持つことは難しいと感じた。
- ・ゼネコンは既に資材も職人も不足しているのに、東京オリンピックや震災復興もあって余裕がないため、今後さまざまな開発が遅れるのではないかと懸念している。未来都市を創造するのではなく、地に足の着いた話ができれば良い。
- ・昼間は働いてまちのことを考える暇もない若者の問題意識が見えないので、もっと意見を聞いてみたいと感じた。

【第2部会】

- ・寄せられたご意見は、概してごもっともと感じられるものが多い。審議会が審議する対象は基本計画であり、実施計画ではないので具体的な反映は難しいが、実施計画等に対する担保として、基本計画にどう表現できるのか工夫したらどうか。
- ・市民には、具体的に示した方が分かりやすいと思う。本文への具体的な記述が難しくければ、図表等を用いて、情報を示していったらどうか。
- ・基本計画であることは理解するが、現在のままでは抽象的で平板な表現となってしまう。このため、達成目標を示すことはできないかと考えているが可能か。

- ・総合振興計画の三層構造を、市民がいきなり理解することは難しい。総合振興計画の計画書を編集する際には、計画書の冒頭でこの三層構造について説明すべきだと考える。
- ・東京オリンピック開催決定に関するご意見も多いようだ。何か反映できないか、検討したらどうか。
- ・基本計画の本文として盛り込めるような、適切な言葉を探すことは困難かも知れない。しかし、例えば、いつまでも元気でいられる、健康である、病気であっても障害を持っていても文化的な偏差値が高い、多様な活動の場がさいたま市にはある等、全体に通じる哲学が分かりやすく表現できればよい。

○重点戦略に関して

【第1部会】

- ・低炭素という用語はCではなくCO₂を減らすことなのでおかしいのではないかと
の意見があるが、温室効果ガスは、二酸化炭素のほかにも、メタン、一酸化二窒素
など、その多くにカーボンが入っており、それを減らす暮らしが大事であることを
指すので、「低炭素」という現在の表現のままで良い。
- ・重点戦略を絞った方が良いという意見があるが、バラエティに富んだ市であるため
これだけの戦略が必要となる訳であり、多様な戦略を総合的に推進することで良い
と考える。

【第2部会】

- ・重点戦略の数を増やすべきという意見があるが、現在の重点戦略は子どもと高齢者
対応の政策に偏っているように感じられるので、どの世代にも納得して頂けるよう
な内容を取り込んでいければと思う。
- ・反対に、もっと数を絞り込むべきという意見もある。これまでの検討の経緯もあり、
戦略の数の変更は困難ではないかと考える。
- ・戦略に副題を付けるなど、わかりやすく示すことが大切である。市民の意見を拝見
して、意図しているところが伝わっていないという実感を受けた。

【第3部会】

- ・重点戦略5では、外国人市民について触れられていないとの意見があるが、以前の
審議会で、あえて特記しなくても良いという結論になった。
- ・重点戦略を絞る、あるいは追加するという意見は、数の多少というよりも、記述内
容に具体性がないという指摘だと感じた。どの重点戦略も外せないなので、数を削る
必要はないと思うが、抽象的な表現は誤解を招く可能性があるかと改めて認識した。
- ・「戦略」という言葉は、いつまでに何をするかなどを示すものだと思うが、そうなっ
ていないので、「重点項目」の方が良いのではないか。
- ・「重点戦略」は、目的と手段両方の意味で使っていて、かつ、分野横断的に取り組む
ことを表しているなので、調整部会ではこの表現で良いという結論になった。

- ・重点戦略5の重点ポイントについて、他の戦略に比べて具体的内容となっている。他の戦略にも「見守り活動の促進」のように具体的な記述があると分かりやすいが、例示を挙げるのは難しいので、このままにせざるを得ないだろう。

○「後期基本計画の策定に当たって」に関して

- ・財政変化のシミュレーションができると良いとの意見があるが、税収の関係もあり難しいが、当たるかどうかはともかくとして、市民に見せていくことも大事だと思う。(第1部会)

○分野別計画に関して

【第1章 環境・アメニティの分野】(第1部会)

- ・ゴミの出し方マニュアルの内容は変わったところがないのに、毎年発行する必要があるのかという意見があるが、実際、変わっているからこそ毎年発行しているにもかかわらず、そのことを気づいてもらえていないことは非常に残念なことであり、行政からの発信が市民に行き届いていないことを実感した。解決策は行政で考えていくと思うが、行政・事業者・市民が一体となって事業を多くこなしていくことで、こういったことがなくなっていくものと考える。
- ・「地球温暖化対策に関する情報」は、省エネルギーやエコライフに関する情報だけでなく、ハード面の整備や交通対策などの情報も含むので、すべての情報を発信するためにも、現在の表現のままで良い。
- ・地球温暖化の一番の原因は自動車であると言われており、自動車の代わりに、公共交通や自転車を利用することが重要なので、自動車に頼らないモビリティの開発や道路整備などに力を入れていくべきではないか。
- ・道路整備や駅前整備、また、「人と自然が共生する緑豊かな美しい都市を目指す」ということで見沼田圃の整備をもっと強調していきたい。

【第2章 健康・福祉の分野】(第2部会)

〈第1節 子育てしやすい都市の実現について〉

- ・No.6の意見などを拝見すると、深刻な真実があるのだと改めて感じる。審議会が審議する対象は基本計画であり、具体的な記述が困難であることは承知しているが、せめて、しっかりと回答すべきだと考えている。
- ・次期基本計画(素案)を読み返しても、例えば「待機児童をゼロにします」といった市の意志が伝わりにくいように思う。伝わる文言となるよう、検討すべきだと考える。
- ・上記と同様に、女性の多様な働き方を支援する、様々なニーズに応え市はきめ細かく支援していくといった意志を、計画素案の本文中に盛り込めないかと考えている。
- ・例えば、計画素案P49(3)に「待機児童の解決に向け」という表現があるが、これを「解決します」などとし、市としての意志を示すことは可能か。

〈第2節 高齢となっても暮らしやすい都市の実現について〉

- ・高齢者に関する施策が、全般的にインパクトが弱いように感じている。基本計画への具体的な書き込みは難しいかもしれないが、パブリック・コメントにて伺ったご意見を踏まえ、できるだけ反映できるよう工夫することが大切ではないか。
- ・計画素案P51(1)に「日頃からの健康づくり」とあるが、得てして身体面での健康づくりにのみ着目しがちなので、文化的な生活による心の健康の大切さも踏まえて、表現を工夫できないか。P55(2)の「心の健康づくり」や、P63(1)の「生涯スポーツ」などとも関連づけられればよい。

〈第3節 誰もが地域の中で自分らしく暮らせる都市の実現について〉

- ・社会人となった障害者に対する支援の充実が必要ではないだろうか。例えば、地域ごとに小規模なグループをつくり、地域に即した一人ひとりに手の届くケアが大切だと感じている。
- ・計画素案P52の現状と課題に「障害者に対する正しい理解を促進することが必要」とあるが、現状では、障害者に対する正しい理解が進んでいないように思うので、「必要」を「重要」に修正するなど、工夫したらどうか。

【第3章 教育・文化・スポーツの分野】(第2部会)

〈第1節 希望を育む教育の推進と青少年の健全育成について〉

- ・計画素案P59の記述に関連してだが、担い手、例えば幼稚園教諭、保育士などの人手不足への対応を、市として積極的に取り組んでいけないか。有資格者を募集して登録し、緊急時等対応が必要な場合に市から派遣するなど、市独自の仕組みがあってもよいのではないか。
- ・体育指導員の登録制と同様に、実現できないか。無償のボランティアとするのではなく報酬を支払うことが大切だと思うが、面白い取り組みだと思うのでご一考願いたい。
- ・制度を創設したあかつきには、市から“こういうお仕事がありますよ”等、わかりやすくPRして登録を促したらよい。若い人の関心を高めていくことも重要である。

〈第2節 生涯を通じた学びの充実とその成果の活用について〉

- ・ホームページにアクセスしてもらえれば、市体育協会は様々な活動機会を市民に紹介できる。このようなことから、市内関連団体のHP等連絡先や、活動の内容などを、市はもっと積極的に広報し周知を図ったらどうかと考えている。

〈第3節 健康で活力ある「スポーツのまち さいたま」の実現について〉

- ・バドミントンや卓球など、高齢者になっても体を動かしたい人は多い。スポーツを通じた高齢者の健康づくりに注目したい。
- ・障害を持っていても、スポーツを通じて社会とのつながりを持つことができるので、障害者団体の取り組みへのスポーツ指導員の派遣等、市から紹介してもらえるような仕組みがあると良い。

〈第4節 生き生きと心豊かに暮らせる文化芸術都市の創造について〉

- ・No.39の「らしさ」と、No.46及び49の「コンサート」に関連して、ロビーコンサートを開催している区とそうでない区があるなど、対応がまちまちだと感じている。もっと市民に寄り添った形で、市が支援していければ良い。
- ・計画素案P65(3)に「多様な文化芸術活動の促進」とあるが、「促進」という表現では弱い。もっと踏み込んで、「助成します」等の文言を加えられないか。
- ・実際のところ市は文化芸術活動団体を支援しているのだが、現在は、個々の団体が市から支援を受けており、なおかつ団体同士が組織化されていないので、全体像がわかりにくい。このため、埼玉県の文化団体連合会のように、文化芸術活動団体を束ねる組織があってもよいと日頃から感じている。計画素案の本文からそのことが読み取れるよう、工夫したらどうか。

【第4章 都市基盤・交通の分野】（第1部会）

- ・世界にも誇れるように、浦和、大宮、さいたま新都心という都心をもっと整備すべきである。市としての特徴をもっと集約して打ち出したいが、さまざまな見方があることを感じた。
- ・道路整備や駅前整備、また、人と自然が共生する緑豊かな美しい都市を目指すということで見沼田圃の整備をもっと強調していきたい。（再掲）
- ・意見が多く寄せられた鉄道などの交通利便性や駅周辺のまちづくりなどを、オリンピックで外国の方が来ることも意識しながら、重点的に取り組むと良いと感じた。
- ・第2回総会後の社会の変化を意識して、例えば、市内の自転車道路200キロ整備の発表を受けて、自転車利用の意識の高まりなどを強調したり、また、東京オリンピック開催決定を受けて、さいたま市の国際化やおもてなしについて強化しても良いのではないか。

【第6章 安全・生活基盤の分野】（第3部会）

〈現状と課題、目指す方向性に関して〉

- ・目指す方向性にある「市民活動」を「地域活動」としてはどうかという意見について、「地域活動」では範囲が限定されてしまい、「市民」のニュアンスが無くなってしまうので、現状のままで良い。
- ・計画素案の第6章第1節の現状と課題について、想定する災害として、地震や水害だけでなく、最近、近隣市でも被害の遭った竜巻などの「風害」を加えることが考えられる。「風水害」とすることも考えられる。

〈安全・安心に関して〉

- ・「安心」は個人の主観によって違うので、行政は「安全」の確保までをすれば良いとの意見があるが、行政が「安全」を確保することにより、市民の誰もが「安心」を感じられるということから「安全・安心」は一体で良い。
- ・「安心」にも種類があり、主観のみでなく、保険や年金など社会の仕組みとして「安

心」が確保されることもある。施策展開のタイトルが「安全」のみの箇所もあるため、記述のバランスを見直す必要がある。

〈地域防災に関して〉

- ・防災のための避難所や備蓄が、既存のもので足りているかどうか定期的に見直すという視点を、新たに加えると良い。
- ・避難場所運営訓練で、学校・行政・事業者の連携が上手くいっていない実態を目にしたので、行政には、計画に記述したことをどう実行するのか、例えば備蓄物資の保管責任者のことなど、より具体的に考えてもらいたい。
- ・学校を避難場所とした訓練に、子どもたちも参加させることができれば、小さな頃から地域と関わっていくことになって良いのではないかと。

〈救急医療に関して〉

- ・救急医療体制の記述が読み取りづらいので、触れておいた方が良い。
- ・計画素案では、応急手当実施率の向上を図るための市民の取組についてのみの記述となっているので、行政の仕組みづくりについても盛り込んではどうか。
- ・健康・福祉の分野など他分野との調整を行い、実際の実施事業などを考えに入れ、盛り込むことを検討してはどうか。

〈マンション施策に関して〉

- ・本計画には盛り込むのは時期尚早かもしれないが、市として、マンションの老朽化への対策が必要だと感じる。
- ・自治会未加入のマンション管理組合に対しても、自治会と同様の補助を考えられないか。
- ・No.24の意見にある事実を確認した上で、「マンション」に関する記述を盛り込むか検討してはどうか。
- ・マンション住民の自治会加入は、立地地域の考え次第なので、行政には、マンション建設の申請が来た時に、地元の自治会へ対応を呼びかけてもらいたい。また、マンション建設時から、管理組合に対し、自治会加入のメリットなどを伝えて呼びかけるとスムーズに進む。

【第7章 交流・コミュニティの分野】（第3部会）

- ・具体的な意見が多い印象がある。計画素案を修正すべき意見はないのではないかと。

〈自治会に関して〉

- ・自治会に対する市民や行政の期待は大きく、自治会は大変であることが分かったので、自治会の負担を軽減し、みんなで担い合うという視点を、第2節に盛り込めると良い。
- ・自治会には子どもから高齢者まで関わっていて、様々な活動を通して、地域の人を元気にし、地域を支えている。自治会ができることはまだまだあるが、やればやる

ほど大変でもある。例えば、雑草の除草のように、自治会がしたほうが安く、すぐに対応できるようなこともあり、その費用については行政が出すなど様々な角度から行政には支援していただきたい。

- ・第2節の施策展開（2）に、自治会のように責任を持って活動を担う人たちのことについて盛り込めないか検討をしてはどうか。

○東京オリンピックの開催決定を受けて

- ・東京オリンピックではサッカー会場の候補地になっているだけではあるが、近隣のさいたま市にも世界から人が訪れることも想定されるため、市内の駅前が魅力的でないという意見もあることから、世界の人を迎えるための空間整備を意識することも考えられる。
- ・東京オリンピックを契機として、さいたま市の人材集積、地域資源、交通便の良さなどをグローバルに生かせるよう、世界に発信していくと良い。
- ・さいたまクリテリウムや世界盆栽大会など、さいたま市で行うイベントについて、もっと強調した方が良い。
- ・国際化への対応として、国際的な観光誘致活動を行うなど、今後いかに国際都市を目指していくかが重要である。
- ・東京オリンピックの際には、日韓ワールドカップの際の成功例や市内の宿泊施設が不足したなどの問題事例があるので、当時の関係資料を参考にすると良い。
- ・東京オリンピック開催にあたって、市内のホテルを確保し、世界各国の関係者に優先的に活用してもらえようような施策が必要ではないか。
- ・東京オリンピックに向けた市内組織をつくと良い。その上で、オリンピックは共生に関わることなので計画素案に盛り込んではどうか。
- ・東京オリンピック開催までに、世界や市外の人が、市内を自転車で観光しやすいように整備することなどが考えられる。さいたまクリテリウム by ツールドフランスを契機とした取組として、例えば自転車特区などが考えられる。
- ・東京オリンピックのサッカー決勝戦は都内で開催するとしても、埼玉スタジアム2002に何試合か誘致してもらえると良い。
- ・東京オリンピック開催に伴い、市には、交通やスポーツ、産業など様々な分野での取組が期待される一方で、交通、スポーツ、産業などどこの分野に記述すればいいのか難しい。記述することがふさわしいか分からない。
- ・東京オリンピックは一過性のものだが、その後にも生かせることがあれば、色々なことに取り組んでいけば良い。
- ・東京オリンピックがさいたま市に及ぼす影響や、取り組む価値などを客観的に判断した上で、市が主体的に誘致した世界盆栽大会などとの力の配分も考えて、やるべきことをした方が良い。オリンピック開催は、色々なことを考える良いきっかけと捉えて、市として行うことを本計画とは別に検討した方が良い。
- ・第2回総会後の社会の変化を意識して、例えば、市内の自転車道路200キロ整備の発表を受けて、自転車利用の意識の高まりなどを強調したり、また、東京オリ

ピック開催決定を受けて、さいたま市の国際化やおもてなしについて強化しても良いのではないか。(再掲)

○その他

【第1部会】

- ・分かりにくい用語には注釈や用語説明を入れるなど、工夫すると良い。
- ・素案中の「池沼」という言葉は、差別用語でもあるようなので、使用してよいか確認してもらいたい。
- ・本計画策定後にも、タウンミーティングなどを通して、本計画に関する情報を市民に提供してもらいたい。

【第3部会】

- ・パブリック・コメントの意見は具体的で貴重なので、市と学識者などが、的を絞って丁寧に検討する機会があれば良い。
- ・外来語の使用を嫌う意見があるが、それでは世の中の流れから遅れてしまう。
- ・施策を展開する責任部署を明記してはいかがか。